

グローバルC o C o債ファンド (為替ヘッジあり・毎月分配型)

追加型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）

交付運用報告書

第132期(決算日2025年9月17日) 第133期(決算日2025年10月17日) 第134期(決算日2025年11月17日)
第135期(決算日2025年12月17日) 第136期(決算日2026年1月19日) 第137期(決算日2026年2月17日)

作成対象期間(2025年8月19日～2026年2月17日)

第137期末(2026年2月17日)

| | |
|-------------|-----------|
| 基準価額 | 7,121円 |
| 純資産総額 | 21,635百万円 |
| 第132期～第137期 | |
| 騰落率 | 1.5% |
| 分配金(税込み)合計 | 300円 |

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項にかかる情報を記載したものです。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバルC o C o債ファンド(為替ヘッジあり・毎月分配型)」は、2026年2月17日に第137期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<642584>

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.amova-am.com

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当運用報告書に関するお問い合わせ先

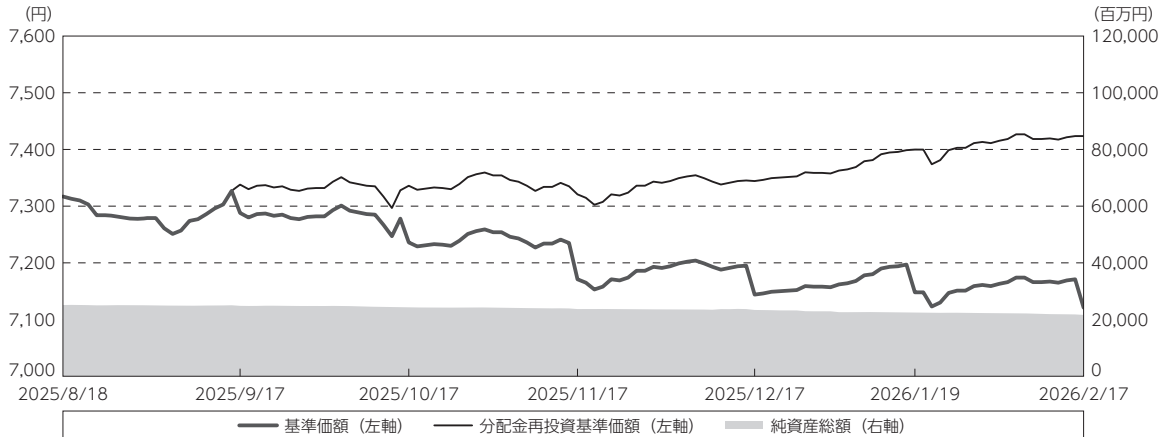
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2025年8月19日～2026年2月17日）



第132期首：7,317円

第137期末：7,121円（既払分配金（税込み）：300円）

騰落率：1.5%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2025年8月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。ハイブリッド証券の中でもC o C o債を中心に投資しております。また、為替ヘッジを行なうことにより、為替変動リスクの低減を図っております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・保有銘柄からインカム収入を得たこと。
- ・保有銘柄の債券価格が上昇したこと。

1万口当たりの費用明細

（2025年8月19日～2026年2月17日）

| 項 目 | 第132期～第137期 | | 項 目 の 概 要 |
|------------------------|-------------|---------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 38 | 0.524 | (a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 |
| （ 投 信 会 社 ） | (13) | (0.176) | 委託した資金の運用の対価 |
| （ 販 売 会 社 ） | (24) | (0.331) | 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価 |
| （ 受 託 会 社 ） | (1) | (0.017) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) そ の 他 費 用 | 1 | 0.007 | (b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 |
| （ 監 査 費 用 ） | (0) | (0.002) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| （ 印 刷 費 用 等 ） | (0) | (0.005) | 印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など |
| 合 計 | 39 | 0.531 | |
| 作成期間の平均基準価額は、7,219円です。 | | | |

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

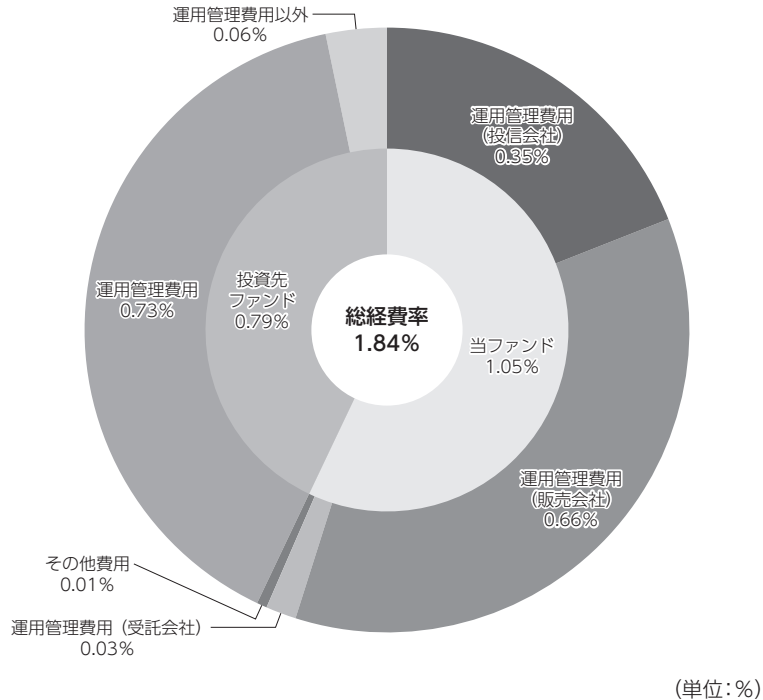
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84%です。



| | |
|----------------------|------|
| 総経費率(①+②+③) | 1.84 |
| ①当ファンドの費用の比率 | 1.05 |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率 | 0.73 |
| ③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | 0.06 |

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

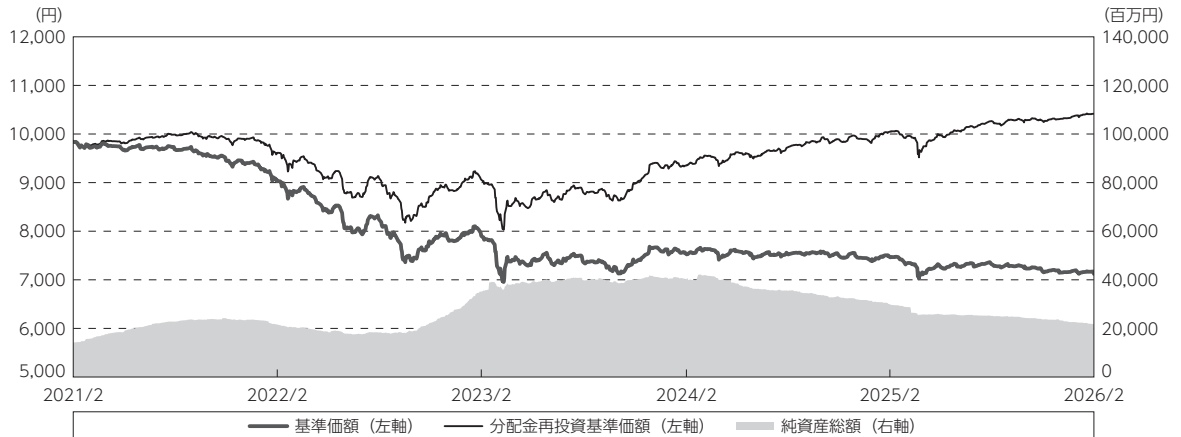
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2021年2月17日～2026年2月17日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2021年2月17日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

| | 2021年2月17日 決算日 | 2022年2月17日 決算日 | 2023年2月17日 決算日 | 2024年2月19日 決算日 | 2025年2月17日 決算日 | 2026年2月17日 決算日 |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円) | 9,842 | 9,028 | 7,901 | 7,524 | 7,463 | 7,121 |
| 期間分配金合計(税込み) (円) | — | 600 | 600 | 600 | 600 | 600 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | △ 2.3 | △ 5.7 | 3.2 | 7.4 | 3.7 |
| 純資産総額 (百万円) | 14,126 | 21,593 | 35,128 | 40,169 | 29,929 | 21,635 |

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

（2025年8月19日～2026年2月17日）

（C o C o債市況）

C o C o債市場は、期間を通じて概ね一本調子で上昇しました。

米国では、トランプ政権の関税政策による影響が懸念されましたが、関税負担増を受けた企業による米国内での顕著な価格転嫁の動きは確認されませんでした。消費者物価指数は前年比で緩やかな低下基調を辿りました。米連邦準備制度理事会（F R B）は、物価上昇圧力が抑制された状況下で雇用に悪化の兆しが見られることを背景に、2025年9月に利下げを再開し、10月および12月にも追加利下げを実施しました。2025年秋には一時的に米国政府機関が閉鎖されましたが、これによる金融市場への悪影響は限定的でした。米国の財政悪化懸念も残存しましたが、これを嫌気した米国長期金利の顕著な上昇は顕在化しませんでした。2026年1月には、トランプ大統領がケビン・ウォーシュ氏を次期F R B議長に任命する方針を示しましたが、市場はこの人事を冷静に受け止めました。

欧州では、欧州中央銀行（E C B）が景気の先行きに対する自信を深める中、景気に関するリスク判断についても、上振れ・下振れのリスクは「概ねバランスしている」との見解を示し、期間を通じて政策金利を据え置きました。

金融市場では、米国景気と物価の緩やかな減速が好感され、ゴールドロック（適温）相場の様相を呈しました。リスク性資産は総じて堅調に推移し、株式市場およびクレジット市場はいずれも上昇しました。2025年11月には、A I（人工知能）関連銘柄のバリュエーション（価値評価）に対する懸念からリスク性資産が一時的に調整しましたが、短期間で収束し、再び上昇基調に回帰しました。金利市場のボラティリティ（変動性）は抑制された状態が続き、期間末時点の米国10年金利は前期間末比で低下しました。欧州では、財政拡張に転じたドイツの10年金利が上昇する一方、フランス、イタリア、スペインの10年金利は低下しました。

C o C o債の主な発行体である欧州大手銀行の業績は堅調に推移し、資本比率も潤沢な水準を維持するなど、クレジットファンダメンタルズ（信用力に関する基礎的条件）は引き続き良好な状態にありました。加えて、金融市場におけるリスク選好の高まりを背景に、C o C o債のスプレッド（利回り格差）は過去最もタイトな水準まで縮小しました。

C o C o債はキャリー収益およびスプレッド縮小を主因として、プラスのパフォーマンスとなりました。

（国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの0.48%近辺から、2025年12月の日銀金融政策決定会合において追加利上げが決定されたことなどをを受けて、0.73%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（T B）3ヵ月物金利は、期間の初めの0.42%近辺から、日銀による利上げなどをを受けて、0.73%近辺で期間末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

（2025年8月19日～2026年2月17日）

（当ファンド）

収益性を追求するため「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド J P Yヘッジド・クラス」円建受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド J P Yヘッジド・クラス）

G-S I F I s（グローバルなシステム上重要な金融機関）に含まれる銀行を中心としたC o C o債、ハイブリッド証券を主たる投資対象とし、投資妙味が高いと判断した銘柄を組み入れました。ポートフォリオのデュレーション（金利感応度）は3～4年、平均格付けはB B +～B B B -程度としました。発行体は20程度、80銘柄程度に分散投資しました。選択的に新発債を組み入れる一方、割高割安に基づき構成銘柄を入れ替えました。ポートフォリオの構成銘柄に大きな変化はありませんでした。

為替ヘッジを行なうことにより、為替変動リスクの低減を図りました。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国債の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2025年8月19日～2026年2月17日）

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

（2025年8月19日～2026年2月17日）

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

| 項 目 | 第132期 | 第133期 | 第134期 | 第135期 | 第136期 | 第137期 |
|-----------|---------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|---------------------------|
| | 2025年8月19日～ 2025年9月17日 | 2025年9月18日～ 2025年10月17日 | 2025年10月18日～ 2025年11月17日 | 2025年11月18日～ 2025年12月17日 | 2025年12月18日～ 2026年1月19日 | 2026年1月20日～ 2026年2月17日 |
| 当期分配金 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 |
| （対基準価額比率） | 0.681% | 0.686% | 0.692% | 0.695% | 0.695% | 0.697% |
| 当期の収益 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 |
| 当期の収益以外 | — | — | — | — | — | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 1,151 | 1,156 | 1,160 | 1,164 | 1,168 | 1,173 |

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド J P Yヘッジド・クラス」円建受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

（グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド J P Yヘッジド・クラス）

当ファンドの基本的な運用方針に変更はありません。金融セクター、特にC o C o債を含むハイブリッド証券は発行銀行の良好なファンダメンタルズと高い利回りを背景に魅力的な投資対象であると考えています。

C o C o債市場では2023年3月のクレディスイスのA T 1債の無価値化以降、3年近くにわたり概ね一本調子の上昇相場が続いています。新発債市場では、第二級の発行体であっても、従来はトップクラスの金融機関のみが可能であったスプレッド水準で市場アクセスを実現している事例が見られます。当ファンドは、地域および事業の両面で高度に分散された構造を有するグローバル金融機関、国を代表するような確固たる事業基盤を有するナショナルチャンピオンを中心に、欧州大手銀行が発行するC o C o債に重点的に投資しています。このような発行体は外部環境の不測の変化に耐え得る強固なファンダメンタルズと潤沢な資本を備えています。一方で、第二級の発行体のC o C o債には慎重な姿勢で臨んでいます。

為替ヘッジを行なうことにより、為替変動リスクの低減を図ります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は、原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

約款変更について

2025年8月19日から2026年2月17日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。

- ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。（第1条、第16条）
- ②当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。（第49条）

その他の変更について

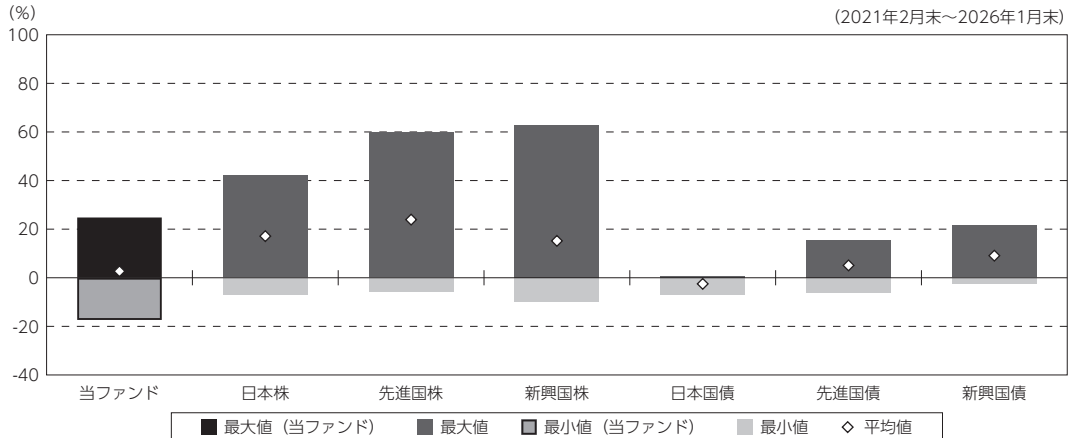
当ファンドが投資対象とするケイマン籍円建外国投資信託「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド JPYヘッジド・クラス」につき、2025年9月1日付けにて、管理会社である「日興AMグローバル・ケイマン・リミテッド」がその社名を「アモーヴァAM・グローバルケイマンリミテッド」に変更いたしました。

当ファンドの概要

| | |
|--------|--|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券） |
| 信託期間 | 2014年10月1日から2044年8月17日までです。 |
| 運用方針 | 主として、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 |
| 主要投資対象 | 「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド JPYヘッジド・クラス」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | 主として、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざします。ハイブリッド証券の中でもCoCo債を中心に投資します。為替ヘッジを行なうことにより、為替変動リスクの低減を図ります。 |
| 分配方針 | 第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 |

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 最大値 | 24.8 | 42.1 | 59.8 | 62.7 | 0.6 | 15.3 | 21.5 |
| 最小値 | △ 17.4 | △ 7.1 | △ 5.8 | △ 9.7 | △ 6.9 | △ 6.1 | △ 2.7 |
| 平均値 | 2.7 | 17.1 | 23.9 | 15.2 | △ 2.5 | 5.1 | 9.1 |

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2021年2月から2026年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX (東証株価指数) 配当込み

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●TOPIX (東証株価指数) 配当込みは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われるアモヴァ・アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2026年2月17日現在）

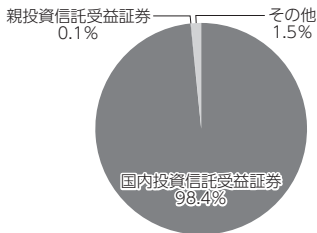
○組入上位ファンド

| 銘柄名 | 第137期末 |
|--|--------|
| | % |
| グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド JPYヘッジド・クラス | 98.4 |
| マネー・アカウント・マザーファンド | 0.1 |
| 組入銘柄数 | 2銘柄 |

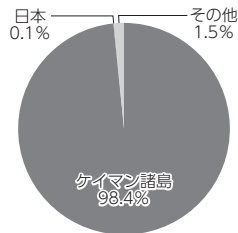
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

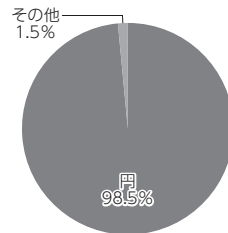
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）国内投資信託受益証券には外国籍（邦貨建）の受益証券を含めております。

（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

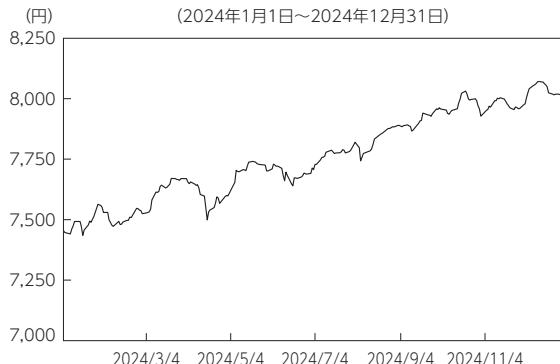
| 項目 | 第132期末 | 第133期末 | 第134期末 | 第135期末 | 第136期末 | 第137期末 |
|------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | 2025年9月17日 | 2025年10月17日 | 2025年11月17日 | 2025年12月17日 | 2026年1月19日 | 2026年2月17日 |
| 純資産総額 | 24,833,027,109円 | 24,270,088,785円 | 23,696,585,413円 | 23,380,680,589円 | 22,408,255,584円 | 21,635,352,540円 |
| 受益権総口数 | 34,075,676,202口 | 33,539,427,588口 | 33,046,035,740口 | 32,727,248,993口 | 31,347,573,140口 | 30,382,830,571口 |
| 1万口当たり基準価額 | 7,288円 | 7,236円 | 7,171円 | 7,144円 | 7,148円 | 7,121円 |

（注）当作成期間（第132期～第137期）中における追加設定元本額は1,985,796,985円、同解約元本額は5,938,700,114円です。

組入上位ファンドの概要

グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド JPYヘッジド・クラス

【基準価額の推移】



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2024年1月1日～2024年12月31日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

(2024年12月31日現在)

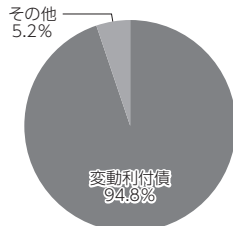
| 銘柄名 | 業種 / 種別等 | 国 (地域) | 比率 % |
|----------------------------|----------|--------|------|
| 1 BNP Paribas FRN Perp | 変動利付債 | フランス | 3.6 |
| 2 Lloyds Banking FRN Perp | 変動利付債 | 英国 | 3.2 |
| 3 Unicredit SpA FRN Perp | 変動利付債 | イタリア | 3.0 |
| 4 Barclays FRN Perp | 変動利付債 | 英国 | 2.9 |
| 5 Deutsche Bank FRN Perp | 変動利付債 | ドイツ | 2.8 |
| 6 Barclays Plc FRN Perp | 変動利付債 | 英国 | 2.7 |
| 7 Intesa Sanpaolo FRN Perp | 変動利付債 | イタリア | 2.7 |
| 8 Banco Santander FRN Perp | 変動利付債 | スペイン | 2.5 |
| 9 HSBC FRN Perp | 変動利付債 | 英国 | 2.4 |
| 10 Caixabank FRN Perp | 変動利付債 | スペイン | 2.2 |
| 組入銘柄数 | | 79銘柄 | |

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

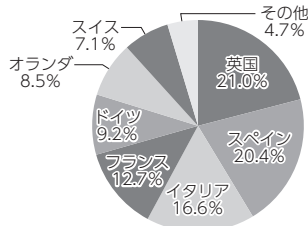
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

※必要な情報が開示されておりません。

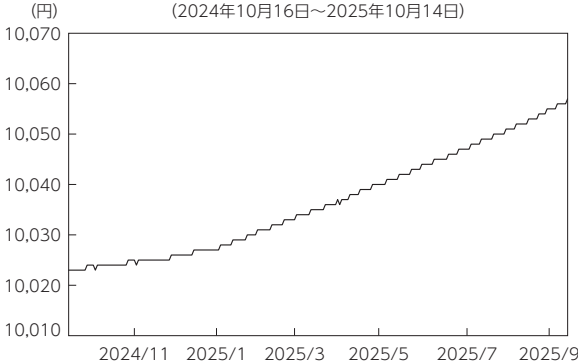
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

マネー・アカウント・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2024年10月16日～2025年10月14日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年10月16日～2025年10月14日)

該当事項はございません。

【組入上位10銘柄】

(2025年10月14日現在)

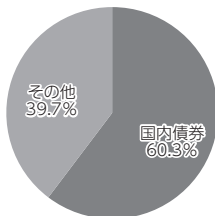
| | 銘柄名 | 業種 / 種別等 | 通貨 | 国 (地域) | 比率 |
|-------|---------------|----------|-----|--------|-------|
| 1 | 第454回利付国債(2年) | 国債証券 | 円 | 日本 | 60.3% |
| 2 | — | — | — | — | — |
| 3 | — | — | — | — | — |
| 4 | — | — | — | — | — |
| 5 | — | — | — | — | — |
| 6 | — | — | — | — | — |
| 7 | — | — | — | — | — |
| 8 | — | — | — | — | — |
| 9 | — | — | — | — | — |
| 10 | — | — | — | — | — |
| 組入銘柄数 | | | 1銘柄 | | |

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

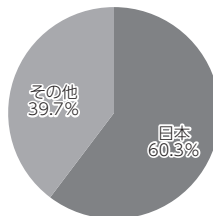
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

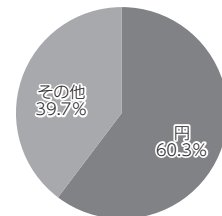
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。